

九州物流改善事例発表会2026 開催のご案内

開催日 2026年11月27日(金) 13:00~18:00

開催方式 会場参加・オンライン参加(Zoom)選択形式で開催

会場 リファレンス駅東ビル 4階 会議室Q
福岡市博多区博多駅東1丁目16-14

参加定員 会場:100名 オンライン:100名
※定員になり次第締め切らせていただきます

少子高齢化による労働力不足に伴い、ロジスティクス・物流の持続可能性が社会的な課題となっています。そのような中、サプライチェーンマネジメント、ロジスティクスを効果的に機能させるためには、経営その他の環境変化に柔軟に対応し、現場が自発的に率先して考え改善する力をつける「物流の現場力」の強化や「自動化・省人化」は必要不可欠です。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 九州・山口地域ロジスティクス委員会では、九州・山口地域における物流現場改善のノウハウやヒントを共有する場として「九州物流改善事例発表会2026」を開催いたします。

今回、現場担当者が知恵を絞り改善活動を推進し、物流品質、生産性の向上などに大きな成果をあげられた7社(8事例)から発表をいただきます。

関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。



13:00～13:05		【開会挨拶】九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員長 松本 豊樹 氏 (株)安川ロジステック 代表取締役社長
セッション1 (発表1・2)	発表1 13:10～13:30	着荷主、発荷主、輸送会社連携による補給部品の積載効率改善 トヨタ自動車九州(株) 生産企画部 企画室 物流企画G 徳永 晃平 氏 物流24年問題を契機に輸送能力課題が深刻化。改正物流効率化法の努力義務を好機と捉え、物流の持続性確保に向けて補給品(※)の出荷物流における積載実態(器具内充填率の低さ)に着目。 TBP(トヨタ問題解決手法)を軸に関係者と連携し、器具サイズの最適化や器具内混載等、従来ルール/慣習をブレークスルーすることで正味積載効率の向上及び投入ドライバー数、CO2排出量低減に繋げる。 ※補給品…車両販売後の修理・保守・交換のために供給される部品(サービスパーツ)
	発表2 13:30～13:50	共通化を文化に ～SRで確立した物流改善手法の横展開と資産循環の実現～ (株)アイシン・ロジテックサービス 物流部 グループマネージャー 谷口 大輔 氏 SRの荷姿改善で培った共通化手法を新規案件へ横展開し、工場ごとの個別最適からグループ全体最適へ発想を転換。将来の新製品まで見据えた共通パレット構造により、物流資産の有効活用と継続的な投資抑制を実現した。さらに、工場間で資産を循環活用する新たな物流モデルの構築に挑戦した。
13:50～13:55		【セッション1講評】九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員 廣山 勝一 氏 日本通運(株) Westカンパニー 九州営業部 部長
セッション2 (発表3・4)	発表3 13:55～14:15	入荷工程生産性改善 ～商材積み付けエリアレイアウト変更による動線短縮～ (株)ワールドスタッフィング 事業企画部 人財戦略課 課長 沖井 大樹 氏 事業企画部 運営企画課 課長代理 福世 智子 氏 生産性ターゲットの達成に向け”DMAIC”の手法に則り改善を実施。 調査結果より、棚入れ前商材積み付けエリア内での作業に不効率を発見。作業分析を行ったところレイアウトに2つの潜在的問題点が潜んでいる事に気付き、これを改善したことで入荷工程の生産性目標達成に貢献した。
	発表4 14:15～14:35	部品搬送作業の見える化と標準化による安全・効率化 ロジスティクスオペレーションサービス(株) 熊本営業所 所長 天野 誠 氏 新入社員の意見を取り入れ、部品棚の表示・配送先経路・作業中表示を改善し、誤集荷・誤配送・人身事故を未然防止した。さらに搬送方法を統一し、搬送回数・時間、荷下ろし工数を削減した。搬送回数は月8回、搬送時間は月144分、荷下ろし時間は月360分削減し、作業の標準化と身体的負荷の軽減、安全性と作業効率を向上させた。
14:35～14:40		【セッション2講評】九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員 竹川 晃司 氏 三菱倉庫(株) 福岡支店 支店長
14:40～14:55		休憩
セッション3 (発表5・6)	発表5 14:55～15:15	梱包材受発注業務における納品書処理時間の削減 (株)安川ロジステック 業務部 業務課 有門 一平 氏 生成AIを活用した納品書確認業務の自動化に取り組んだ。精度確保や運用安定化の課題に対し、QC的手法による分析と改善を実施し、画像認識からデータ化、発注情報との照合までを自動化する仕組みを構築した。これにより、納品書処理時間の削減と業務の標準化および品質向上を実現した。
	発表6 15:15～15:35	～写真管理・レポーティングの素早くシンプルな運用へ！現場から挑む品質向上と業務効率化～ 日本通運(株) 福岡海運支店 業務 係長 木村 勇貴 氏 デジカメ運用による写真整理・共有業務のムダに着目。現場で撮影した写真を「撮って保管する記録」から、倉庫・営業・顧客がリアルタイムで「価値を共有する情報」へ転換。 品質の見える化、超過勤務削減を実現すると共に、顧客満足度向上に繋げた現場主導のDXカイゼン活動。
15:35～15:40		【セッション3講評】九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員 御船 弘久 氏 ヤマエ工野(株) 常務執行役員 物流本部 副本部長
セッション4 (発表7・8)	発表7 15:40～16:00	鉄パレットへの出荷部品箱詰め込み支援システムによる生産性向上 トヨタ自動車九州(株) 製造改革推進部 改革推進室 製造技術開発G 平林 諒也 氏 計画ごとに詰め込む部品箱の大きさ・種類・数量が異なり、詰め込み方法が標準化されていないため、作業者の経験に頼り、作業に時間がかかるほか、詰め直しや作業品質のばらつきが発生していた。 そこで、鉄製パレット内の配置場所・順序を計算する作業指示システムを内製開発。開発費を抑え、作業時間と負担の軽減、作業の標準化、習熟期間の短縮につなげた。
	発表8 16:00～16:20	荷主主導の航空輸送×地場配送会社連携による新たな九州配送網構築 ～運賃コスト削減と配送レジリエンス向上～ (株)ミスミ Digital Operation Excellenceプラットフォーム・ハブ 物流統括 物流業務統括室 チーフディレクター 落合 修平 氏 九州向け配送において、荷主主導で航空輸送と地場配送会社を組み合わせた新たな配送網を構築した。昼間帯航空便の空きを安価に活用し、運賃コスト約10%の削減を実現。配送モード複線化によるBCP強化やモーダルシフト推進にも寄与している。今後は持続可能かつ拡張性の高い配送モデルとして他地域への展開を目指す。
16:20～16:25		【セッション4講評】九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員 辻本 晃教 氏 (株)松岡 物流部 九州・山口エリアリーダー 兼 福岡物流センター 所長
16:25～16:30		【記念品贈呈】
16:30～16:45		休憩・移動
16:45～17:05		【名刺交換会】発表企業との名刺交換
17:05～17:10		【全体講評】九州・山口地域ロジスティクス委員会 副委員長 河村 孝史 氏 TOTO(株) サプライチェーン本部 物流推進部 部長
17:10～18:00		【交流会】発表者・参加者相互の交流会の実施

九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員一覧

九州物流改善事例発表会は、九州・山口地域ロジスティクス委員会が企画、運営を行っています。

(2026年8月1日現在・敬称略・順不同)

委員長	松本 豊樹	(株)安川ロジステック 代表取締役社長	委員	秋本 委	西部電機(株) マテハン事業部 技術部
副委員長	星野 裕志	中村学園大学流通科学部 特任教授 九州大学 名誉教授	委員	田坂 靖	トヨタ自動車九州(株) 生産企画部 企画室 物流企画G グループ長
副委員長	河村 孝史	TOTO(株) サプライチェーン本部 物流推進部 部長	委員	吉富 秀介	中川運輸(株) 代表取締役社長
委員	世戸 武男	アサヒロジ(株) 西日本支社 営業部 部長	委員	初村 雅敏	西九大運輸倉庫(株) 執行役員
委員	吉元 正美	臼杵運送(株) 執行役員 西九州統括本部 副本部長	委員	廣山 勝一	日本通運(株) Westカンパニー 九州営業部 部長
委員	磯野 崇	SBS東芝ロジスティクス(株) 九州支店 支店長	委員	眞鍋 和弘	(株)博運社 代表取締役社長
委員	松田 隆一郎	九州電力(株) 都市開発事業本部 産業用不動産開発グループ グループ長	委員	富永 太郎	福岡倉庫(株) 代表取締役社長
委員	堀内 憲一郎	霧島酒造(株) 取締役 生産物流本部 本部長	委員	辻本 晃教	(株)松岡 物流部 九州・山口エリアリーダー 兼 福岡物流センター 所長
委員	中村 星児	久留米運送(株) 九州地区本部 福岡営業部 部長	委員	竹川 晃司	三菱倉庫(株) 福岡支店 支店長
委員	平田 圭	(株)健康家族 熊本支社 支社長	委員	南條 卓也	(株)安川ロジステック 管理部 部長
委員	矢賀部 仁	金剛(株) 製造本部 副本部長	委員	御船 弘久	ヤマエ工野(株) 常務執行役員 物流本部 副本部長
委員	佐藤 健太	(株)サトウロジック 取締役 / 営業部長	委員	大塚 政志	(株)ワールドスタッフィング 事業統括本部 本部長
委員	三浦 祐嗣	三和酒類(株) 生産本部 副部長			

物流現場改善推進ポータルサイトをご活用ください

JILSの物流現場改善の活動については、以下のURLをご参照ください

<https://www1.logistics.or.jp/data/subdivision/>

物流現場改善推進ポータルサイトでは、「物流現場改善推進のための手引書」や「コラム：物流改善のすすめ」、「物流現場改善事例集」などを公開しております。



～物流現場改善に取り組む皆さんを応援します！～ 物流現場改善優良認定制度のご案内

日本ロジスティクスシステム協会では「物流現場改善優良認定」制度を2022年度よりスタートいたしました。

本制度は、物流現場改善に積極的に取り組まれている皆様の活動を応援すべく、物流現場改善の先進企業として認定することで、広く産業界に周知させていただくことをねらいとしております。

【物流現場改善優良認定 ロゴマーク】



**あなたに届け、
わたしの挑戦。**

※提供したロゴマークのデータは名刺や会社案内等各種媒体への掲載など自由にご活用ください。
※認定は年度ごとに実施しており、ロゴマーク自体に認定年度(西暦)が記載されます。なお、認定基準等につきましては当協会HPをご覧ください。

<https://www1.logistics.or.jp/data/kaizen/>



参加料(会場参加・オンライン参加ともに同価格です。)(消費税込)

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

会員 8,800円/1名

会員外 16,500円/1名

◆有資格者優待(フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、協会主催の講座で習得した知識をより深め、実践の場で活用できる能力を身につけたいという有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格※をお持ちの方に協会主催のプログラムを優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場としてぜひご活用ください。

◇ フォローアッププログラム参加料：5,500円/1名(消費税込)

フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

有資格者優待の該当保有資格をご確認ください。

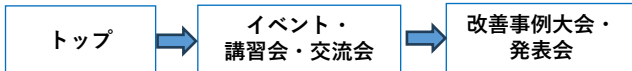
※ロジスティクス経営士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流技術管理士、物流現場改善士

参加定員

- 会場参加：100名
- オンライン参加：100名
- (定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加申込方法

当協会WEBサイトからお申し込みください。

https://www1.logistics.or.jp/network/kyushu_kaizen_sanka/

右記2次元コードからもお申込みいただけます。

参加料支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則としてお申込み手続きご担当者のE-mail宛に送付いたします。
- それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までにお願いたします。
- ※開催後になる場合は、参加申込フォームの連絡欄に明記してください。
- ※開催前日までに参加料のお振込みがなかった場合でも、自動的に参加の取消とはなりません。
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日(開催日を含まず起算) …… 参加料(消費税を除く)の30%
 開催前日および当日 …… 参加料(原則として消費税を除く)の全額
 ※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

ご 注 意

- お申し込み時に「会場参加」もしくは「オンライン参加」をご選択ください。
- 参加者全員にPDFテキストをメール等にて事前にお送りいたします。
- ※発表により、テキストデータ送付が不可となる場合がございます。
- あらかじめご了承ください。
- 会場参加者につきましては、開催日当日、会場にて冊子テキストをお渡しいたします。オンライン参加者には冊子テキストの配布はございません。
- なお、テキストのみの販売はいたしておりません。
- スライド内容を撮影する目的での写真撮影および発表内容の録音はご遠慮ください。

参加申込・問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部
 〒530-0001
 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル11階
 TEL: 06-4797-2070 FAX: 06-4797-2071
 e-mail: kansai@logistics.or.jp

オンライン参加について

発表会会場での発表をオンラインライブ配信(Zoom利用)いたします。

日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承ください」と、以下の事項に同意のうえお申し込みください。

<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>

- Zoomクライアントが使用できない場合はご参加いただけません。開催前に接続確認のご案内をいたします。
- 本発表会の参加者は申込時に登録した参加者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本発表会を期間限定で配信します。
- 参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本発表会の録画、録音、撮影およびAI等を用いた文字起こしは禁止します。
- 参加者により運営を妨げるおそれのある行為が認められた場合、対象者の聴講を中止する場合があります。

会場のご案内

リファレンス駅東ビル 4階 会議室Q

福岡市博多区博多駅東1丁目16-14

<https://rental.com/ekihigashi/access/>

<アクセス>

- ・JR博多駅 筑紫口より 徒歩4分
- ・福岡市営地下鉄博多駅 筑紫改札口より 徒歩4分

**個人情報の取り扱いについて**公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<https://www1.logistics.or.jp/privacypolicy/>) をご覧ください。

なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催しに関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。